

同窓会だより

発行

千葉県立船橋高等学校同窓会

千葉県船橋市東船橋6-1-1

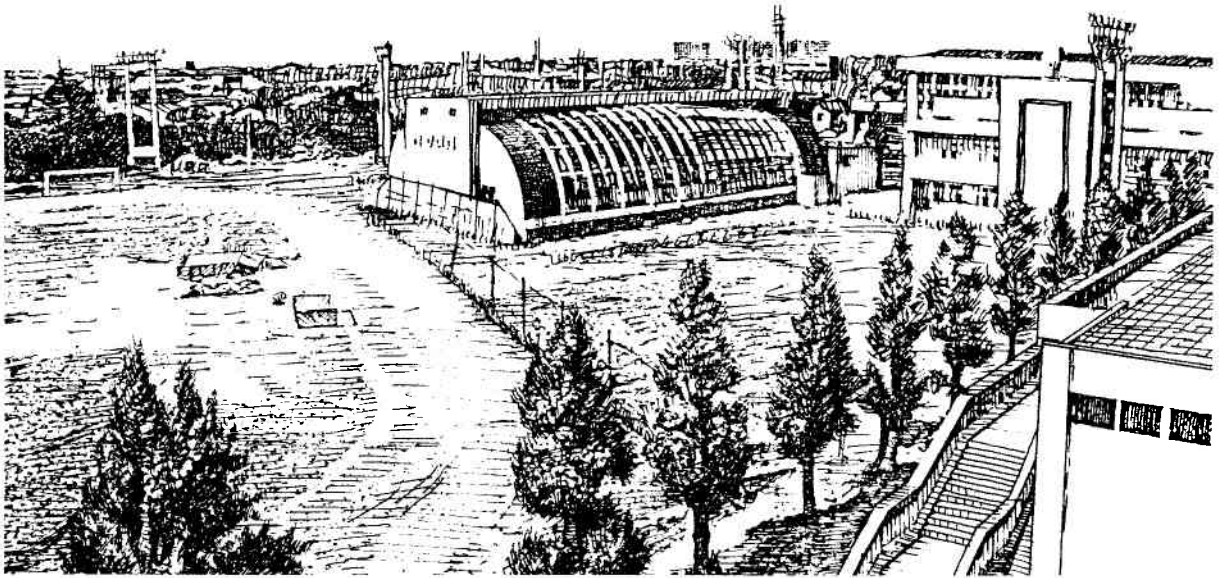
☎ 273 ☎ 0474-22-2188

印刷 (有) 青孔社

船橋市宮本6-31-19

☎ 0474-23-5551

題字 小原天籟先生
カット 稲色嘉裕先生



新同窓会長挨拶



三代川 幹雄

現千葉県

船橋地区保護司

千葉県立船橋高等学校同窓会々員の皆様にはますますの御健勝にて御活躍の事と存じます。この度平成四年度の総会において、推挙されました同窓会々長の三代川で御座居ます。諸先輩を置いて私の様な浅学非才で教育には暗い私ですが、皆様方の御協力で重任を勤めて行きたいと思えます。前会長を始めとして長らく役職に御尽力くだされました方々に心より敬意を表すもので御座居ます。思い出おしますと昭和三十九年六月頃かと思いますが、当時の同窓会長の伊藤島村さんと瀬山一男先生が私の家を訪ねてまいりまして、君も船高の卒業生で有るのでこれから同窓会の役員として協力してくれる様に要望されました以来三十年近くになりますか、現在に至ったわけ

す。私の入学時代は戦争中で学校の内容たるや精神、肉体両面に対する極めて酷しい訓練の毎日、現代の学生諸君には想像もつかない思いでした。建物も木造校舎で現在は鉄筋コンクリート建築で体育館有りセミナーハウスも有りです。申し訳有りませぬ。現船橋高校の進歩はめざましいと云っても過言では御座居ませぬ。県下の進学校としての活躍は衆知の通りで御座居ます。同窓会の伝統を守り諸先輩の御意見を聞き連絡を取りながら同窓会運営に当って行きたいと思えます。今後共会員の皆様方の絶大なる御協力、御支援を賜わります様衷心よりお願い申し上げますと共に会長就任の御挨拶と致します。

船高同窓会回想



前同窓会会長
萩原 忠

(一) 会の組織づくり

現在の同窓会は昭和二十二年会則第三条に則り、年々隆盛になったもので、初期の困難を乗り切つて得たものである。

戦後間もない昭和二十二年、中学院時代、私立中学校時代、公立中学校・高校時代の卒業生を寄り合わせ、私立時代より教職にあつた亡き瀬山先生の御指導と御努力により円満に本校同窓会が設立された。昭和二十六年山口校長在職中に現在のような会員中より会長を選出する方法に改め、初代会長には田中健夫氏が就任された。それ以降、別表のように現在迄に十五代七名の会長が会員より選出され、同窓会予算の執行と運営に熱心に当たって下さったことにより会の目的が遂行されてきたのである。初代会長である田中氏の組織づくりは大変の一言に尽きるものであった。

(二) 同窓会運営事業

無事五十周年記念事業を終了させることが出来た。第五代三橋光会長の代になると、校舎増築(現在の南館)、校庭整備など学校の施設拡充に合わせ、同窓会として教育環境整備に尽くされた。またこの時は、創立七十周年に向けての地味な努力の時代でもあった。次の第六代森田廣会長が七十周年記念事業を引き継がれ、記念行事及び式典の委員長として業績を挙げられた。このように大きな事業が無事終了させることができたのは何よりも会員一同の御協力によるものであるが、陰で支えられた会長の御尽力が大変なものであったと推察する。

一 会員名簿の発行
昭和三十年より現在迄に三回刊行。最新のものは七十周年記念事業の一環として刊行された。

二 船高育英資金事業
育英資金として年間三人に対し前期一〇〇〇円、後期一八〇〇円を支給。当時の日本育英会奨学金とはほぼ同額であり、特に返済を義務付けしなかった。

三 団体支出金制
学校体育行事の補助及び関東大会以上の大会出場生徒に補助金として支出。

四 応援活動への援助
体育クラブ等への応援活動に対する資金援助。その為の資金を得ることを目的として、納涼歌謡曲大会、プロレス興業及びしろうと演芸大会等を興業。

五 定時制分校設立への協力
昭和三十二年頃、日本毛織会社より定時制に登校していた生徒の二部別授業の為に分校を設立しようという動きがあった。これは、船橋市小栗原五丁目(現在の本山山)にあった市公民館の一部使用に関する問題で、当時の公民館長岸慶三氏の御協力により使用可能となり、分校が設立できた。

六 船橋定時制振興会発足への協力
時の船橋市長渡辺三郎氏と市議総務委員長の御骨折りで年間三十万円の補助が予算化されたことを契機として、四十五年から五十万円、現在に至っては大橋市長の御力で年間百五十万円の予算枠となっている。

七 母校事業への資金援助
昭和三十九年以降校舎増改築に際してPTAと協力し、二次にわたり百万円づつ資金を援助した。また、創立七十周年に当たっては会員を対象として募金活動を行い二千五百万円の寄付をすることができた。

その他、母校発展の為に、諸行

事に対する協力を同窓会として積極的に行つて来たことを書き添えておく。

【会長】

田中 健夫	昭和27年〜36年
伊藤 島村	昭和36年〜39年
伊藤 幸蔵	昭和39年〜45年
三代川恒次	昭和45年〜48年
三橋 光	昭和48年〜57年
森田 廣	昭和57年〜平成2年
萩原 忠	平成2年〜4年
三代川幹雄	平成4年〜現在

※各方面での会員の活躍

スポーツ界においてはバレーの白神守君、陸上の笠島義之・松永一彦君、ボクシングの野根・木内・本間君及び牧村君、野球で長島君。プロで式田・日野君、平成二年には幅跳び、三段跳びで下仁君の活躍がすぐに思い浮かぶ。

教育関係では植草榮君、片岡勉君、県高教組委員長に横堀君、東大教授に大野君。母校の前の宮中の白井校長等多数の方々。

政界では市角・藤代(孝)・野田君等の県議、その他、船橋市・習志野市に多数の市会議員が選出されている。近い将来(次回)国会の選挙には母校船橋高校卒業の代議士がかならず出ると思う。

思いつよまに記憶をたぐつて列記して来たが、もっと多くの方

【予算額】

昭和35年	一四六万円
昭和45年	三七八万円
平成4年(現在)	八百一十七万五千円(特別会計を含む)

々の御名前が挙がってよいところである。多数の卒業生が各方面で活躍されているが、残念ながら同窓会関係者にまでは正確なところが伝わってきていない。今後、機会あるごとに様々な情報をお寄せ頂ければ幸いである。

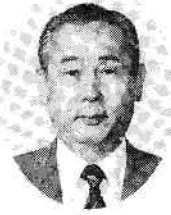
母校のますますの発展と会員諸氏一同の御活躍と御健康を祈念すると共に、同窓会活動への一層の御援助を心よりお願いして、この拙い文を終わらせたいと思う。

「新春の集い」のご案内

- 日時 平成5年2月11日(木) 12時より
- 場所 船橋市 東魁楼本館
(船橋市本町4丁目36番17号)
TEL 0474(22)3529
- 出席なさる方は、同封の葉書で1月11日(月)までに御返送願います。なお、参加人数が多い場合は、場所を変更する場合がありますので御了承下さい。

回想

— ありがとう船高 —



校長
三橋 衛

昭和43年4月、私は校歌に送られ、11年間の思い出を残して船高を去った。そして、昭和62年4月、縁あって再び船高に戻ることになった。始業式で20年ぶりに校歌を聞いた。一緒に歌いながら歌詞の一部が変わっていることに気がついた。生徒は「輝く歴史に轟くその名」と歌ったが、私の覚えていたのは「歴史は浅くも轟くその名」であった。後で、創立50周年を機に改めたということを知ったが、あの頃の卒業生は、今でも、クラス会などで昔のまま歌っている。

ところで、船高での二度目のお勤めも間もなく終りを迎えようとしている。考えてみると、私の教職人生(38年)の約半分が船高での勤務(17年)であったことになる。昭和32年、ソ連のスパイトニク一号が打ち上げられ、いよいよ宇宙時代の開幕が告げられた年、それが私の船高生活のスタートの時であった。

初めて訪れた船高は、正門付近のやや近代的な外観とは対照的に廊下の天井に数条の電線がむき出しのまま這っていたのが印象的であった。薄暗い職員室は戸棚や本箱でうず高い壁が築かれ、それぞれ

刊行され、最初の本格的な校史の編纂も始まった。その外、記念講演会、記念音楽会、卒業美術作家展など、船高70年の歴史を彩る華やかな行事も繰り広げられた。これら諸事業の達成は、森田元会長さん、小石事務局長さんを中心とする同窓会の役員の方々の温かいご支援、ご協力と、二千六百を越す多くの卒業生の心の籠った浄財の賜物であった。同窓の皆さんの物心両面にわたる母校への惜しみないご援助に、改めて心からの御礼を申し上げます。

平成4年秋、本校南館(特別教室棟)の大規模改修が急ピッチで進められていた。間もなく、グラウンド整備(陸上トラック等)や武道館の改修が始まる。船高キャンパスはまた変身することになる。私は、今、船高17年の回想に耽り、私を育ててくれた船高に感謝しながら、残り少なくなつた日々を大切に送る毎日である。

昭和32、43年 本校教諭
昭和60、62年 千葉県教育庁指導課長
昭和62、平成4年 本校校長
現在
千英泉高等学校校長協会会長
全国高等学校校長協会常務理事
全国普通科高等学校校長会常務理事

平成2年 千葉県教育功労者表彰
平成3年 教育者文部大臣表彰

校内職員紹介

現在在職している同窓職員は全日制四名、定時制三名の計七名であるが、勤務時間の関係もあり、同窓会関係の役員・事務局理事は全日制の次の職員で担当している。小川信雄……同窓会事務局次長。社会科(日本史)教諭、総務部。昭和三十八年卒、卒業時はA組、担任は浦上孝夫先生(英語)、因みに、二年時の担任も浦上先生、一年時は鈴木末吉先生(化学)担任。

在学中は陸上競技部で一〇〇M、二〇〇Mを練習。三年生の時、インターハイに出場したかったが関東大会で敗北し、残念な思いをしたとのこと。勉学の方は思わしくなく、常に成績を上げなくてはというプレッシャーがあったとか。

本校には昭和五十六年に赴任、十二年間在職。
油井邦夫……同窓会副会長。理科(物理)教諭、進路指導部三年G組担任。
昭和四十四年卒、卒業時はC組、担任は池山吉彬先生(国語)、二年時もC組で棟方基先生(英語)担任、一年時もC組で青柳昌三先生(数学)担任。
三年の時、南館が完成して重い荷物を運んで苦労したのに、今また大規模改修で引越に悩まされている。

昭和五十七年、赴任。十一年間在職。
堀本伸介……同窓会会計。理科(化学)教諭、総務部、二年D組担任。
昭和四十八年卒、卒業時はI組、担任は宇野武朗先生(社会)二年時は伊東三郎先生(物理)担任、一年時は石神勉先生(英語)担任。
二年の時の担任伊東先生は年度途中に肝臓病で入院し、三年になつても学校に戻ってこれませんでした。そのため、三年次は学年主任の宇野先生が担任をして下さいました。その後、伊東先生は病気が治らず、帰らぬ人となつてしまいました……。

昭和五十七年、赴任。十一年間在職。
以上、母校との関わりを簡単に紹介したが、この三名と私(湯目千津・国語科教諭、本年度赴任)とで同窓会のお手伝いをさせて頂いている。
また、同窓会活動には、定時制に在る次の同窓職員も可能な限り参加している。
森田和男……保健体育科教諭、生活指導部、定一年C組担任。
昭和三十四年卒。
竹下良介……英語科教諭、管理・厚生部、定一年A組担任。
昭和三十六年卒。
森弘之……理科(物理)教諭、総務部、定二年C組担任。
昭和五十四年卒。
当時の先生方のお名前を拝見して、思わず懐かし御自分の青春時代を思い起こされた方もいらっしゃると思う。母校の門はいつでも開かれている。橋祭・同窓会総会・新春の集いなど、気軽に訪れて、歓談の一時を持たれてはいかがであろう。

平成四年度同窓会事業報告

(一) 役員会について

第一回常任理事会 七月二日
議題①平成三年度会計決算
②平成四年度会計予算案

③新役員の出選について

④校外事務局の設置について
第二回常任理事会兼幹事会

七月二十五日
議題①常任理事、新幹事顔合わせ

②第一回理事会

③総会準備
第三回常任理事会 十月二十八日

議題①新常任理事の委嘱
②今後の同窓会活動について

(一) 総会及び会計について
平成四年度同窓会総会は例年通り、八月一日曜日(八月二日)

に母校セミナーハウス一階食堂において開催されました。本年度は年一回の定例総会でありながら、出席者が役員を含めて四十名足らずで、淋しい総会となりました。

総会の案内状は卒業した年の卒業生全員(全定)に発送しますが、次年度以降は八月第一日曜日十時より母校会場で開催することを前提として案内状は発送していません。その関係で総会の開催をお忘れになっている卒業生の皆様も多いかと思われませんが、ここ数年は年々総会への出席者が減少し、総会の開催自体危ぶまれている状況です。この同窓会だよりをお読みになったのを機会に、来年度以降の総会には是非とも多くの卒業生の皆様にご出席下さいませようお願いします。

尚、総会の内容は以下の通りです。

(一) 平成三年度事業報告及び平成四年度事業計画について
(事務局長 小石 税)

本校同窓会の恒例行事となりました「新春の集い」も昨年度で第四回を迎えました。本会は卒業生の枠を越えた同窓生の交流の場としてスタートし、例年二月十一日の建国記念の日に実施してきました。しかし、昨年度は二月十一日が大安だったため、船橋市内の主なホテル等は予約が一杯の状態であり会場が取れませんでした。やむなく二月十五日(日)に本校の卒業生であり学年代表幹事(高校第五回昭和二十八年卒)である林昇志氏経営のグリーンタワーホテル(幕張メッセ)にて実施致しました。本会の案内状は高校第一〜二十回の学年代表幹事を通してお知らせしましたが、一部連絡が不行届きの点があり、出席者が少なくなるのではないかと懸念もありましたが、当日は百名を越える多くの出席者により盛況のうちを会を進めることができました。本年度も引き続き、新春の集いを計画致しますので、ご出席の程よろしくお願致します。

一昨年度、本校創立七十周年記念事業に際して多くの卒業生の皆様から寄付をいただき、記念事業は記念誌刊行と懐古園造成を残して、大半は無事終了することができました。この寄付金の残金およそ六百万円は特記会計に組み入れ、以後同窓会が、発行費等と

して活用する計画でしたが、昨年度は同窓会事務局の不手際で同窓会だよりを発行することができませんでした。ここで、改めておわび申し上げます。つきましては、本年度は是非とも同窓会だよりを発行し、皆様のお手元にお届けしたいと思えます。

(二) 平成三年度同窓会一般会計及び特別会計決算について
(表1・4参照)

(三) 平成四年度同窓会一般会計及び特別会計予算案について
(表2・3参照)

(四) 同窓会新役員承認について
前同窓会会長、萩原 忠氏のご勇退に伴い、前同窓会副会長の三代川幹雄氏(高校第一回卒)が新しく会長として承認されました。その他、新たに副会長として本校現職員である油井邦夫氏(高校第二十一回卒)が、また会計監査として、常任理事を長い間務めていただいた鮎川昌澄氏(高校第八回卒)がそれぞれ承認されました。

今回の役員改選は同窓会規約による役員任期(三年)満了に伴うもので、常任理事及び事務局の改選については新会長のもとで人選し、常任理事会で正式に委嘱する予定です。

(三) 新役員改選及び新体制の確立について
常任理事の人選にあたっては創立七十周年記念事業の際、募金活動に協力いただいた高校第一回、第二十二回の各学年代表幹事の方へ常任理事を依頼した結果、高田健氏をはじめ十一名の代表幹事が心良くご承諾いただきました。

また、同窓会事務局は従来、本校同窓職員を中心とする事務局員により運営してきましたが、ここ数年の人事異動により同窓職員が減少し、事務局業務に支障をきたす事態となりました。そこで高校第十五回学年代表幹事である矢野嘉朗氏をはじめ、船橋市役所内の同窓職員に協力を依頼した結果、校内のほかに校外事務局を設立し、事務局業務にあたる体制を整えることができましたので、以下ご報告致します。

『平成四年度同窓会役員』
会長★三代川幹雄(高校第一回)
副会長 斎藤和夫(昭和二十年卒)
佐藤 昭(昭和二十一年卒)
横堀正一(高校五回)
田久保捷三(高十回)

常任理事 高田 健(高校二回)
片山 弘(高校四回)
林 昇志(高校五回)
花沢保夫(高校五回)
江尻成幸(高校七回)

理事★保津幸子(高校八回)
★田久保賢明(高十七回)
★玉置一夫(高校十八回)
★湯目千津(高二十一回)
★堀木伸介(高二十五回)

顧問 三橋 光(昭和七年卒)
★萩原 忠(昭和十五年卒)

『同窓会事務局役員』
事務局長 小石 税(高校七回)
副会長★油井邦夫(高二十一回)
事務局次長★矢野嘉朗(高十五回)
★小川信雄(高十五回)

★石井猛夫(高校九回)
★松永修巳(高校十回)
★森田英雄(高校十回)
★野村公平(高十一回)
★坂田武総(高十二回)
★畠山三郎(高十四回)
★子安啓司(高二十回)
★相澤友夫(高校十三回)
★鮎川昌澄(高校八回)
★中村嘉秀(高校九回)

会計監査 顧 問
★鮎川昌澄(高校八回)
★中村嘉秀(高校九回)

★鮎原 忠(昭和七年卒)

★萩原 忠(昭和十五年卒)

★石井猛夫(高校九回)

★松永修巳(高校十回)

★森田英雄(高校十回)

★野村公平(高十一回)

★坂田武総(高十二回)

★畠山三郎(高十四回)

★子安啓司(高二十回)

特別会計 (表1) 平成3年度 決算書

34年4月1日〜4年3月31日

①収入	1. 繰越金	6,087,663
	2. 利息	124,850
	3. 雑収入	770
合計		6,213,283
②支出	1. 同窓会だより発行費	0
	2. 記念事業基金	0
	3. 陸上世界大会出場補助	200,000
	4. 予備費	0
合計		200,000
差引		6,013,283 次年度繰越

平成4年度 予算案 (表2)

44年4月1日〜5年3月31日

①収入	1. 繰越金	6,013,283
	2. 利息	80,000
	3.	
合計		6,093,283
②支出	1. 同窓会だより発行費	1,500,000
	2. 記念事業基金	4,500,000
	3. 予備費	93,283
	4.	
合計		6,093,283

平成3年度 一般会計決算書 (表4)

平成4年度 一般会計予算案 (表3)

収入の部

		予算	決算	増減	備考
1	繰越金 現金	904,014	904,014	0	
2	会費	1,054,000	1,048,000	△6,000	全445定79
3	雑収入 利息	5,000	17,039	12,039	
	その他	0	0	0	
合計		1,963,014	1,969,053	6,039	

収入の部

		本年度	前年度	増減	備考
1	繰越金 現金	1,067,432	904,014	163,418	
2	会費	1,006,000	1,054,000	△48,000	全443定60
3	雑収入 利息	8,000	5,000	3,000	
	その他				
合計		2,081,432	1,963,014	118,418	

支出の部

		予算	決算	増減	備考
1	会議費 総会	120,000	81,640	△38,360	
	役員会	100,000	82,331	△17,669	
2	通信費	450,000	219,136	△230,864	通信用ワープロ
	印刷費	200,000	38,810	△161,190	
	消耗品費	10,000	8,509	△1,491	
	人件費	20,000	6,700	△13,300	
	団体支出金	250,000	198,000	△52,000	
3	後援費 卒業記念費	100,000	99,882	△118	卒業証書入れ
	育英金	0	0	0	
	組織企画費	400,000	55,000	△345,000	支部活動費含
4	交際費 会長	20,000	0	△20,000	
	慶弔	50,000	44,753	△5,247	香典、記念品他
5	事務局費	100,000	54,500	△45,500	明細別紙参照
6	予備費	143,014	12,360	△130,654	貸金庫代
合計		1,963,014	901,621	△1,061,393	
収入・支出 差引 残金		1,067,432	次年度へ繰り越し		

支出の部

		本年度	前年度	増減	備考
1	会議費 総会	120,000	120,000	0	
	役員会	100,000	100,000	0	
2	通信費	150,000	450,000	△300,000	
	印刷費	50,000	200,000	△150,000	
	消耗品費	20,000	10,000	10,000	ワープロ消耗品
	人件費	20,000	20,000	0	
	団体支出金	250,000	250,000	0	
3	後援費 卒業記念費	120,000	100,000	20,000	卒業証書入直し
	育英金	0	0	0	
	組織企画費	200,000	400,000	△200,000	支部助成金を含
4	交際費 会長	20,000	20,000	0	
	慶弔	50,000	50,000	0	
5	事務局費	100,000	100,000	0	
6	予備費	81,432	143,014	△61,582	
小計		1,281,432	1,963,014	△681,582	
7	一般会計積立金へ繰出	※800,000	0	800,000	積立金補充
合計		2,081,432	1,963,014	118,418	

財産目録 (表5)

1	一般会計積立金	1,655,676 + 800,000※	次期学校寄附自動車費金
2	自動車一台	1,500,000	マツダボンゴL.C (60年式)
3	ワープロ	195,000	東芝ルポJ198UP II
合計		4,150,676	

事務局から

事務局長 小石 税

県立船橋高等学校七十周年記念式典も無事に終り、永く同窓会にご尽力していただいた萩原会長が三度川幹雄(高一回)に、平成四年度総会にて、パトナタッチし新しく県立船橋高校同窓会(新制高校卒)がスタートいたしました。これまで同窓会の裏方として活躍していただいた事に心から感謝申し上げます。これから三代川会長の元に同窓会のあり方を研究し同窓生に愛される同窓会にしていかなくてはなりません。今日までは入学時に在校生より同窓費をいただき、その入会費にて同窓会を運営してまいりましたので、事務局(本校卒業の先生方)の考えは在校生のお金なので、在校生中心に予



算を考えるべきであるとの基本的な考えで、運営されて来ましたが、私は事務局長を引き受けて以来大きな矛盾に悩まされてまいりました。同窓生の為に使用出来ないものか、また県立船橋高校のPRに使用出来ないものか、私自身は同窓会の終身入会金なので、もう少し同窓会の考えを入れるべきだと主張してまいりましたが、在校生の入学時にいただくと言う大きな壁と事務局を同窓の先生にお願いしているという立場を考えるとどうにもなりません。しかし、先般の七十周年事業において多くの卒業生の協力が得られ、今回校外の事務局員の協力をお願いした所、心良く引き受けていただきましたので、組織を変更し、同窓生にも役立つ同窓会に向けて努力したいと思っておりますので、どうか皆様のご協力をお願いします。

「千葉県立船橋高等学校 七〇年史」の発刊について

母校職員、記念誌編集責任者
同窓会事務局次長(高校十五回)

小川 信雄

創立七十周年記念誌の発行は創立七十周年記念事業の一環として計画された。校内の各教科から編集委員が選出されて合計七名で構成した第一回編集委員委員会が開催されたのは一九八九(平成元)年十月九日であった。それから数回の委員会を経て決まった方針は『創立五十年誌』の内容を補いつつ、主にはこの二十年間の記録、動向をまとめる。創立九十ないし百周年にむけての資(史)料の収集、整理にもこころがけるようにする。また一九七〇年以降、現在にいたる教育実践のまとめともなるように編集する。したがってなんなる「顕彰碑」的な記念誌とはならぬよう注意し、歴史的・社会的背景との関連も十分に配慮するというものであった。

その後、職員会議などの諒承を経て内容と項目案が検討された。内容・項目は創立から一九九〇年にいたるまでの通史的な部分、とくに一九七〇年以降、九〇年までの教科、分掌、委員会などの教育実践活動の内容記述、それに生徒会活動全般にわたる部分などで構成することとした。また資料編として卒業生数、詳細な年表などを別に掲載することとした。私自身は初任教員として本校定時制課程に赴任した一九七〇年に

急拠、『創立五十年記念誌』の定時制部分の執筆を担当したが、今回は当時より定時制分の頁数を増加するよう提案した。こうして約六〇〇頁を予定とすることになった。

執筆分担を決め、一九九一年度末までには刊行を予定したものの原稿集約が遅れた。九二年四月の編集委員会で一学期の早いうちに入稿することを決定した。現在の予定では遅れても一九九三(平成五)年二月末には刊行予定がたっており、写真、原稿の初、二校が終っている。

刊行の遅れは原稿集約の遅れにもよるがその原因は過去の資(史)料が体系的に残っておらず、わずかに二十年ほど前のことでも不明なことが多く、写真などはまったく学校側に残されていなかったことなどの理由によると思っている。今後は同窓生のより積極的な協力を得て記録保存と収集に積極的に取り組むたい。今回の『七十年誌』はいくつかの不足もあるが、『創立五十年誌』とあわせれば本校の姿がよくわかるようにところがけた。とくに進学校としての船高の成長過程はえがくことができたと思う。一読をいただければ幸いである。

同窓生より



高校十五回
矢野 嘉朗

三十八年卒業の矢野と申します。私達十五回生は、全同窓の中で一番まとまっている学年だと自負しております。七十周年の募金活動では金額に於ても、協力してくれた人数に於ても一番多かったはずですが、又、五年ごとに行なっている同期全体の集りでも、すぐに百

秋桜の咲く日に

高校八回
保津 幸子

昔を物語るようになると、年をとった証拠であると云われるが、やはり、懐かしいものはなつかしい。私が入学した昭和二十七年に、新制高校になってからの校歌が誕生した。サトウハチロー・山田耕作

両先生の作詞作曲である。美しい旋律と詞に心を奪われたものだった。正面玄関前、生徒が立並んだ中、山田先生は、杖に両手をかけながら、穏やかな中にも凛とした顔立ちで、曲のイメージを話された。サトウ先生は、やや横巾

の広いどっしりとした身体で、子供の頃からの生い立ち等を、ユーモアたっぷりに話された。二番の詞に「歴史は浅くも轟くその名々、」とあったのを、しばらくし

五十人以上は集まりません。我々同期のまとまっている秘訣は、年に一度集まっている「三八会」と月に一度集まっている「ひねもす会」にあります。三八会は仲間が経営している八千代の、お寿司屋へ十二月の第一土曜に声をかけ合って三十名から五十名程集まります。これが基礎となり船橋では船橋で商売をしている者が十名程で月一回飲み会を開いております。これが「ひねもす会」です。このように何人がかいつも連絡をとりやすくしておりますので、いろいろな同期生の情報も入りやすく、又、その仲間ゴルフの会、釣りの会などもやっております。私はどんなに落ち込んでいた時でも

も仲間の一人と一杯やれば、本当に楽しい気分になります。こんな訳で今つくづく船高を出て良かったなあと思っております。他の学年の皆様、どうかまず同期の仲間を大切にしてください。ところが船高の同窓会を盛り上げる第一歩だと思っておりますか……。私の期も、もっともっと活発な活動をして行くつもりですが、そのうちに船高を出たというだけで、学年を越え、皆様と良いお付き合いが出来ればと思っております。県内の千葉高、長生高等伝統校に負けないような、同窓会活動にしようでは、ありませんか。

たらこの箇所は、サトウ先生にお願いして変更してもらわないといけないと苦笑した山口久太校長のあの精悍で若々しい顔を想い出す。今から四十年も前のことである。卒業してからは、母校から全く遠のいていた足が、同窓会事務局に携わるようになり、しばしば通ううちに、母校がグッと身近かに感じられるこの頃である。毎年、母校で開催される八月第一日曜の同窓会総会に、昔を語りに来ませんか。

事務局より

- (1) 「同窓会だより」に載せる原稿を募集しています。
- (2) 平成2年発行の「同窓会名簿」の残部があります。
- (3) 住所等変更がありましたら、御連絡下さい。



上のグラウンドより旧正門付近を望む

船高スポーツ

青春の汗と涙
今年も頑張る

団体成績 ()内は参加校数

水泳部

県高校水球選手権大会

第四位(23校)

剣道部男子

総合体育大会県大会

ベスト16(165校)

大将3森田、副将3E伊藤らの活躍により、新人戦ベスト4の西武台千葉高校を撃破し、近年最高のベスト16進出を果たした。

バドミントン部男子

関東大会予選県大会

ベスト16(140校)

野球部

春季県大会

ベスト16(176校)

夏の甲子園予選におけるシードを獲得した。

バスケットボール部女子

関東大会予選県大会

ベスト32(194校)

バレーボール部男子

関東大会予選県大会

ベスト32(181校)

軟式庭球部

関東大会予選県大会

ベスト32(160校)

硬式庭球部

総合体育大会県大会

男子 ベスト32(130校)
女子 県大会出場

個人成績

陸上競技部

総合体育大会県大会

・100M 2F 岡山、3C 神田

・200M 2F 岡山、3C 神田

・400M 2F 安田、3C 神田

・槍投げ 3I 巻野

・走高跳 3C 嶋倉

・4×100MR 2I 石和田、2F 岡山、3C 神田、2J 安田

・4×400MR 3I 巻野、3C 藤林、3H 安孫子、2J 安田

以上県大会出場

なお、4×100MRは走る度に次々とチーム記録を更新し、100M 岡山と共に準決勝進出の快挙を遂げた。

硬式庭球部

総合体育大会県大会

3D 田中、3I 鈴木組ベスト32

3B 重松、3A 黒田組ベスト64

3D 丸次、3E 赤須組ベスト64

3H 岡田、3D 鈴木組2回戦

卓球部

総合体育大会県大会出場

3F 牛島、2J 村上

新体操部

総合体育大会県大会出場

3C 濱田

私立高校圧倒的優位の新体操での県大会出場は、大健闘といえることができる。

どの部も日々、厳しい練習に励んでいます。今後一層の活躍が期待されます。

報告

同窓会組織運営について思うこと

副会長 油井邦夫

二年前は、母校創立七十周年記念行事の年でした。その節は、同窓会員の皆様方には、母校に対する暖かい御支援、御助力をいただき、誠に有難うございました。当時、会計の担当者として、お礼申し上げます。皆様におかれましては、再び、母校とのつながりが出来た方もいらっしゃるかと存じます。今年は、七十周年記念事業完了の年として、「記念誌」、「懐古園」の完成を待ち望んでおられるでしょう。今後も未永く、母校とおつきあいいただけることをお願い申し上げます。

お陰様で、「同窓会だより」第四号が、出ま上がりました。当初、六頁の予定でしたが、役員・理事改選等、頁数が八頁に増えてしまいました。発送は、約二千六百人の方に、お届けする予定です。事務局といたしまして、これだけ多くの方とおつきあいでできると思うとうれしい限りです。

七十周年以前、同窓会事務局と連絡のとれる同窓会員は、たかだか百名程度でした。七十周年記念事業の資金提供をお願いすべく、全会員に呼びかけ、高校一回から、二十回までは、学年毎で集め、本部(学校)からも約六千通通知を郵送しました。事務的な作業は、すべて本校同窓職員数名でおこなって参りました。いままでは、会計、芳名簿の作成等、七十周年記念事業の細部にわたるまで、本校同窓職員で、尽力して参りましたが、今までのような同窓職員による同

窓会運営は、そろそろ、限界に達するのではないかと思われまふ。二千六百人という、本校生徒、二校分です。組織は、拡大するのは良いのですが、それをとりまとめる中核が確立していないと、空中分解してしまします。これから、校内事務局長は、確実に減少します。千葉県の教育公務員の場合、同一校に、十人以上勤務する者は、人事異動の対象になります。そのため、七十周年記念以前、母校同窓職員の中核的存在であった坂田先生や七十周年記念式典挙行の時の増田先生も異動対象者として転勤され、現在本校にはおりません。現在全日制同窓職員四人のうち、三人までが、十年以上本校に勤務しております。今回、このような状況により、校外に事務局が、設立されることになりました。

資金面においても、七十周年以前は、現役高校生からの一人あたり二千元、計約百万円が、収入のすべてでした。しかし、七十周年記念事業では、同窓諸氏の暖かい志しでもって、母校に報いることができまふ。その残金で、何回かは、皆様方に、「同窓会だより」をお届けすることが出来るでしょう。一回発行するのに、百数十万円はかかります。また、その労力は、計り知れませんが、今、資金が残っているうちに、対処しておかないと七十周年記念以前のように、同窓会の運営がほそぼそとしたものになってしまします。八十周年は、おこなうかどうかかわかりませんが、来るべき記念事業に向けて、そして、船高に縁を持ったのですから、おしいに連絡を取り合います。ご方々の御協力をお願いします。

致します。これだけ大きく組織が拡大してくると、同窓会組織運営は、いかにあるべきか議論するの必要になってきます。他校の例も調査していただきます。資金面においては、卒業された同窓生から賛助会員として、会費制にしている学校が多い。組織としては、中央組織、支部組織を確立している。名簿管理、印刷発送業務を、業者委託している学校がある。繁雑な事務的な処理等専門におこなってくれる人を雇っている。年功序列的組織、懐古趣味的同窓会経営をおこなっているところもある。組織が、選挙等政治に悪用されたところもある、等等です。

今年度は、同窓会会長をはじめとして役員人事が一新され、七十周年記念事業寄付金集めの学年代表の方に常任理事をお願いし、役員の数も増えました。七十周年記念事業からの組織の拡大・活性化は、事務局長の小石税氏の御尽力に負うところが多岐にわたります。篤く御礼申し上げます。

最後に、母校同窓会組織運営について、関心をもってくださる方は、ご意見をお寄せ下さい。そして、毎年八月一日曜日に、行われる総会に御出席され、御意見をいただければ幸いです。また、ご自分ないしはご知合いの方で、名簿管理等委託できる方を、ご存じならば、お知らせ下さい。皆様、満足されるようなより近代的な同窓会運営を目指して頑張る所存ですので、皆様の御協力をよりしくお願い申し上げます。